

## 許容張力・曲げ半径

キャブタイヤケーブルを長期間安定してご使用いただくために、下記の値を参考にケーブルに過度の「張力・曲げ・側圧」を与えないようにして下さい。

### 品種区分

一般キャブタイヤケーブル	耐屈曲型キャブタイヤケーブル	KT 導体キャブタイヤケーブル
2PNCT 3PNCT 2SKCT 2PLCT 2FFCT 2PPCT	CT-2PNCT T-2PNCT-J T-2PNCT T-2PNCT-U-J T-2PNCT-U TT-2PNCT GT-2PNCT-J GTT-2PNCT BGTT-2PNCT BGTT-2PNCT-U 補強型 T-2PNCT-J	KT-2PNCT-J KT-2PNCT KTT-2PNCT-J KTT-2PNCT 補強型 KT-2PNCT-J 補強型 KT-2PNCT

### 許容張力

		許容張力						
品種区分	計算方法（下記の方法で行うが、最大値を 200kg）【注3】とする。							
一般キャブタイヤケーブル 耐屈曲型キャブタイヤケーブル	許容張力	最大許容張力						
		【最大許容張力】=【公称断面積】×【線心数】×2.7						
KT 導体キャブタイヤケーブル	【注1】 【注2】 参照	【例】 T-2PNCT 16C×2.0mm <sup>2</sup> の場合 2.0×16×2.7≒86(kg)						
		【最大許容張力】=【許容張力 A】+【許容張力 B】 【許容張力 A】=【公称断面積】×【線心数】×2.7 【許容張力 B】=【1心の補強紐本数】×【線心数】×1.5						
		【例】 KT-2PNCT 16C×2.0mm <sup>2</sup> の場合 16×11.4≒180(kg)						
			サイズ	0.75mm <sup>2</sup>	1.25mm <sup>2</sup>	2.0mm <sup>2</sup>	3.5mm <sup>2</sup>	5.5mm <sup>2</sup>
		1心当	補強紐の数	2本	3本	4本	6本	9本
		許容張力 A	2.0kg	3.3kg	5.4kg	9.4kg	14.8kg	
		許容張力 B	3.0kg	4.5kg	6.0kg	9.0kg	13.5kg	
		最大許容張力	5.0kg	7.9kg	11.4kg	18.4kg	28.3kg	

- 【注1】 長期間安定してご使用いただくためには、最大許容張力より小さい、次の計算式による値を使用して下さい。  
【許容張力】=【公称断面積】×【線心数】×2.0
- 【注2】 ゴム系の場合、2種(例:KT-2PNCT)・3種(例:KT-3PNCT)とも同じ値となります。
- 【注3】 最大値200kgは、当社規定です。

### 曲げ半径

曲げ半径（ケーブル仕上げ外径※1に対する倍数）

品種区分	可動部		固定配線部	
	最小曲げ半径			
一般キャブタイヤケーブル	/		遮蔽なし	4倍以上
			遮蔽あり	6倍以上
耐屈曲型キャブタイヤケーブル	10倍以上 ※2		同上	
KT 導体キャブタイヤケーブル	6倍以上 ※2		同上	

- ※1 平型ケーブルの場合は短径  
固定配線：移動を伴わない固定配線で使用する場合。  
※2 曲げ半径は用途毎に異なるため、品種別選定表(P5～P6)を参照してください。